

◆ソシオネクスト：「ISC West」に出展

最先端のイメージシグナルプロセッサとエッジ AI システムによる映像モニタリング、監視カメラ向けソリューションを紹介

株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.) は、4月10日から12日まで米国ラスベガスで開催される「ISC West」に出展する。当社のイメージシグナルプロセッサ「Milbeaut®」シリーズによる高画質、高性能処理とソシオネクストのエッジサーバー技術をベースとした映像モニタリング、監視カメラ向けソリューションのラインナップを紹介。(ソシオネクストブース：32107)

ソシオネクストのエッジソリューション

セキュリティ分野では近年、低レイテンシーなど性能面だけでなく、プライバシー保護の観点からも、個人情報などセンシティブなデータをクラウドに送ることなくエッジ側で処理する要求が高まっています。ソシオネクストは本年の ISC West で、カメラに搭載したデバイスでの AI 処理や複数カメラを制御するエッジ AI サーバーによる処理など、さまざまな低消費電力エッジ処理のソリューションを提案する。

カメラ内蔵デバイスによる複数の顔検知および認識

ソシオネクストはパートナー各社と共同で、エッジデバイスへの AI 機能の実装を可能にする CNN (畳み込みニューラルネットワーク) ディープラーニングソリューションを開発しました。展示では監視カメラにおける視覚探索機能に最適な複数の顔検知および認識処理のデモンストレーションを行います。照度の低い環境でも高度な性能を発揮し、一部が覆われている顔や斜めから見た顔の認識に加え、一つの画面の中で複数の人物や物体を特定することが可能です。カメラに搭載したデバイスが顔のデータとメタデータを瞬時に取得してクラウドに送ることで、ディープラーニング推論処理の精度を高める。

このデモはソシオネクストの Milbeaut (ミルビュー) シリーズのイメージシグナルプロセッサ「SC2000」を中心に構成しています。SC2000 は監視カメラに要求される高度な画像処理に対応するよう設計されており、ヒトによる目視、およびコンピュータビジョンによる画像認識のそれぞれに最適な画質を提供する。

リアルタイム物体認識およびビデオマネジメントシステム

監視カメラ向けに最適化した高速、高性能かつ低消費電力の AI ソリューションを展示します。当ソリューションは Arm コアプロセッサ「SynQuacer SC2A11」と、エッジ向け AI アクセラレーターの組み合わせで実現しています。パートナー各社と共同で AI アクセラレーター搭載ビデオマネジメントシステムを開発、優れた並列処理と高度なビデオ分析機能により、画像分類、顔認識、物体検知などに優れた性能を発揮します。IP カメラから取得した複数チャンネルの映像をリアルタイムで配信することが可能で、ビデオ分析処理を SynQuacer プロセッサと AI アクセラレーターを搭載したエッジ側システムで実行、配信する映像にメタデータを付加することでよりインテリジェントな処理が可能となる。

3DNR・WDR 機能搭載 最先端イメージシグナルプロセッサ

ソシオネクストはさらに、Milbeaut シリーズの超低消費電力プロセッサ「SC2002」を中心としたシステムを展示します。3DNR (三次元ノイズリダクション)、WDR (ワイドダイナミックレンジ) 機能を搭載、低照度環境下でも高画質での撮影を可能にしています。SC2002 はわずか 1.5W で動作し (Typical 条件)、ビデオモニタリングや監視カメラシステムに最適な高性能 DSP (デジタルシグナルプロセッサ) を搭載している。

ソシオネクストについて詳しくは www.socionext.com/jp を